

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 クルーズ株式会社

上場取引所 東

ユード番号 2138 URL

2138 URL https://crooz.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小渕 宏二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者CFO (氏名) 関本 清高 (TEL) 03-6387-3622

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無:有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利益	益	親会社株主に外 中間純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5, 382	△23. 2	△138	_	△256	_	△184	_
2025年3月期中間期	7, 011	0. 9	△854	_	△670	_	△363	_

 (注) 包括利益
 2026年3月期中間期
 △236百万円 (-%)
 2025年3月期中間期
 △524百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△19. 25	-
2025年3月期中間期	△36. 01	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

(ロ/ た前の外内心			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	28, 802	9, 075	31. 1
2025年3月期	29, 530	9, 327	31. 1

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 8,970百万円 2025年3月期 9,192百万円

2. 配当の状況

	- Ho - 17 M/M							
		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2025年3月期	_	0. 00	_	0.00	0.00			
2026年3月期	_	0. 00						
2026年3月期(予想)			I	0.00	0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業利	J益	経常和	J益	親会社株主 する当期		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11, 821	△16.7	30	_	△174	_	△170	-	△17.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:有 新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) Studio Z株式会社

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有
 - (注)詳細は、添付資料 P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	12, 957, 600株	2025年3月期	12, 957, 600株
2026年3月期中間期	3, 389, 880株	2025年3月期	3, 389, 880株
2026年3月期中間期	9, 567, 720株	2025年3月期中間期	10, 093, 089株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、事前に録画した決算説明動画を当日使用する決算説明資料とともに、本日2025年11月12日 (水) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、2025年11月18日(火)16:30より、Q&Aを中心とした決算補足説明会をオンラインで開催する予定です。

○添付資料の目次

1.	経常	営成績等の概況	2
	(1)	当中間期の経営成績の概況	2
	(2)	当中間期の財政状態の概況	3
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	中国	間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	中間連結貸借対照表	4
	(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
		中間連結損益計算書	6
		中間連結包括利益計算書	7
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項	10
		(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
		(セグメント情報等の注記)	10
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
		(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、インフラやテクノロジーの進化、世の中のユーザーのニーズの変化に合わせて事業を創造するテックカンパニーとして、ITアウトソーシング、EC領域を中心に10以上のサービス・事業を展開しており、現在はIT人材業界におけるエンジニア人材の不足という市場課題を解決することを主としたシステムエンジニアリングサービス事業 (SES事業)を中心に、人材×IT領域を対象として事業展開をおこなっているITアウトソーシング事業をメイン事業としております。

経済産業省が公表した「IT人材需給に関する調査(注1)」によると、IT関連市場規模の拡大に伴い、2030年までIT人材の不足は年々増加すると予測されており、2030年には最大で約79万人のIT人材が不足する見込みと言われております。また、IT人材の平均年齢の高齢化もあり、ITニーズの増加に伴う需給ギャップの拡大は今後益々拡大されることが予測されます。その中で、当社グループのITアウトソーシング事業は2020年の事業開始から前期まで売上高年平均成長率約68%と大きく成長してきております。当第2四半期連結会計期間においては、売上高は1,748,657千円(前年同期比64.4%増)、営業利益が13,942千円(前年同期は営業損失10,726千円)となりました。事業進捗は好調であり、さらに成長させるために引き続き注力していきたいと思っております。

EC事業については、当第2四半期連結会計期間の売上高は835,003千円(前年同期比54.5%減)、営業利益が12,807千円(前年同期は営業損失51,321千円)となりました。EC事業は前期まではSHOPLIST事業とAda.事業で構成されておりましたが、SHOPLIST事業については、2025年2月28日に株式譲渡が完了しており、当期からはAda.事業のみとなっております。Ada.事業は、主に『ZOZOTOWN』内で展開する、オリジナル商品と他社優良ブランドの商品を厳選したファッションセレクトショップを運営しておりますが、当該Ada.事業のみでみると当中間連結累計期間の売上高の増減率は前年同期比42.2%増となっており、季節要因による変動が若干ありますが、事業開始から順調に成長しております。

今後はメイン事業となるITアウトソーシング事業に経営資源を集中し、さらに業績を伸ばしていきます。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高5,382,947千円(前年同期比23.2%減)、営業損失138,809 千円(前年同期は営業損失854,913千円)、経常損失256,086千円(前年同期は経常損失670,080千円)、親会社株 主に帰属する中間純損失184,177千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失363,484千円)となりました。

(注1) 2019年3月公表の経済産業省「IT人材需給に関する調査 調査報告書」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年 同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① ITアウトソーシング事業

売上高は3,328,051千円(前年同期比63.6%増)、セグメント損失は298千円(前年同期はセグメント損失58,259千円)となりました。

EC事業

売上高は1,782,369千円(前年同期比51.2%減)、セグメント利益は42,441千円(前年同期はセグメント損失18,441千円)となりました。

③ その他事業

売上高は272,526千円(前年同期比79.4%減)、セグメント損失は180,952千円(前年同期はセグメント損失778,212千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は、現金及び預金の減少696,141千円などにより、28,802,877千円(前連結会計年度末比727,289千円の減少)となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、長期借入金の増加256,360千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加219,844千円などがあった一方で、社債の減少1,000,000千円などにより、19,727,233千円(前連結会計年度末比475,677千円の減少)となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の減少167,432千円及びその他有価証券評価差額金の減少53,869千円などにより、9,075,643千円(前連結会計年度末比251,611千円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき算定した業績予想を公表いたします。

詳細については本日(2025年11月12日)公表いたしました「2026年3月期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

		(単位・1円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10, 104, 071	9, 407, 930
売掛金	2, 365, 500	1, 783, 126
商品	327, 978	375, 318
その他	528, 712	654, 656
貸倒引当金	△550, 696	△15, 914
流動資産合計	12, 775, 565	12, 205, 116
固定資産		
有形固定資産	215, 531	290, 855
無形固定資産		
ソフトウエア	6, 340	4, 696
無形固定資產合計	6, 340	4, 696
投資その他の資産		
投資有価証券	3, 656, 678	3, 396, 034
投資不動産	12, 021, 078	11, 961, 078
その他	786, 530	886, 669
投資その他の資産合計	16, 464, 287	16, 243, 782
固定資産合計	16, 686, 159	16, 539, 334
繰延資産	-	
社債発行費	68, 441	58, 425
繰延資産合計	68, 441	58, 425
資産合計	29, 530, 166	28, 802, 877

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	670, 349	626, 426
1年内償還予定の社債	2,000,000	2, 000, 000
1年内返済予定の長期借入金	604, 718	824, 563
未払金	450, 160	504, 179
未払費用	153, 629	164, 217
未払法人税等	126, 660	130, 101
その他	551, 295	581, 453
流動負債合計	4, 556, 815	4, 830, 942
固定負債		
社債	5, 000, 000	4, 000, 000
長期借入金	9, 506, 192	9, 762, 552
繰延税金負債	33, 967	33, 308
預り敷金	439, 879	434, 375
預り保証金	665, 438	665, 438
その他	617	617
固定負債合計	15, 646, 095	14, 896, 291
負債合計	20, 202, 911	19, 727, 233
純資産の部		, ,
株主資本		
資本金	460, 163	460, 163
資本剰余金	1, 379, 395	1, 379, 395
利益剰余金	10, 955, 702	10, 788, 269
自己株式	$\triangle 3,851,091$	△3, 851, 091
株主資本合計	8, 944, 169	8, 776, 736
その他の包括利益累計額		-, ,
その他有価証券評価差額金	255, 394	201, 525
為替換算調整勘定	\triangle 7, 437	$\triangle 7,474$
その他の包括利益累計額合計	247, 957	194, 051
新株予約権	9,753	4, 992
非支配株主持分	125, 374	99, 862
純資産合計	9, 327, 255	9, 075, 643
負債純資産合計		
只识胜具生口司	29, 530, 166	28, 802, 877

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7, 011, 871	5, 382, 947
売上原価	4, 205, 753	2, 629, 700
売上総利益	2, 806, 118	2, 753, 246
販売費及び一般管理費	3, 661, 031	2, 892, 056
営業損失(△)	△854, 913	△138, 809
営業外収益		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
受取利息	36, 790	38, 255
投資事業組合運用益	191, 786	
賃貸収益	126, 224	254, 486
その他	21, 811	2, 646
営業外収益合計	376, 612	295, 387
営業外費用		
支払利息	60, 084	140, 093
持分法による投資損失	26, 435	7, 500
社債発行費償却	10, 015	10, 015
為替差損	3, 683	703
投資事業組合運用損	_	9, 310
賃貸費用	71, 395	229, 880
その他	20, 165	15, 160
営業外費用合計	191, 780	412, 665
経常損失 (△)	△670, 080	△256, 086
特別利益		
新株予約権戻入益	0	4, 760
投資有価証券売却益	1, 008, 129	38, 720
固定資産売却益	44	1,033
その他	<u> </u>	52
特別利益合計	1, 008, 173	44, 566
特別損失		
固定資産除却損	1,024	1, 947
投資有価証券評価損	4, 999	_
関係会社株式売却損	-	7, 329
貸倒引当金繰入額	534, 782	_
その他	137	3, 309
特別損失合計	540, 944	12, 586
税金等調整前中間純損失 (△)	△202, 850	△224, 105
法人税等	156, 065	△41,876
中間純損失(△)	△358, 915	△182, 229
非支配株主に帰属する中間純利益	4, 568	1,948
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△363, 484	△184, 177

(中間連結包括利益計算書)

		(1 🖾 : 114)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△358, 915	△182, 229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164, 763	△ 53, 869
為替換算調整勘定	△614	$\triangle 36$
その他の包括利益合計	△165, 377	△53, 906
中間包括利益	△524, 293	△236, 135
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△528 , 861	△238, 083
非支配株主に係る中間包括利益	4, 568	1, 948

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△202, 850	△224 , 105
減価償却費	124, 720	105, 239
持分法による投資損益(△は益)	26, 435	7, 500
為替差損益(△は益)	3, 683	703
投資事業組合運用損益(△は益)	△191, 786	9, 310
投資有価証券評価損益(△は益)	4, 999	_
投資有価証券売却損益(△は益)	△1, 008, 129	△38, 720
新株予約権戻入益	$\triangle 0$	△4, 760
関係会社株式売却損益(△は益)	_	7, 329
固定資産売却益	_	△1, 033
固定資産除却損	1, 024	1, 947
賃貸収益	△126, 224	△254, 486
賃貸費用	71, 395	229, 880
貸倒引当金の増減額(△は減少)	532, 458	△534, 782
売上債権の増減額(△は増加)	185, 895	411, 932
商品の増減額(△は増加)	△134, 014	△48, 251
前払費用の増減額(△は増加)	16, 472	$\triangle 14,921$
仕入債務の増減額(△は減少)	△79, 584	49, 561
未払金の増減額 (△は減少)	△219, 857	158, 231
未払費用の増減額(△は減少)	△13, 951	17, 478
預り金の増減額 (△は減少)	324, 064	19, 269
その他の資産の増減額 (△は増加)	120, 418	△59, 471
その他の負債の増減額(△は減少)	$\triangle 7,546$	100, 957
その他	44, 797	121, 969
小計	△527, 579	60, 778
- 利息の受取額	43, 187	37, 364
利息の支払額	△52, 451	△138, 530
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	$\triangle 409,725$	155, 417
営業活動によるキャッシュ・フロー	△946, 569	115, 030
投資活動によるキャッシュ・フロー		,
定期預金の預入による支出	<u> </u>	△2, 000, 000
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 69,954$	△160, 003
有形固定資産の売却による収入	44	6, 699
無形固定資産の取得による支出	△55, 840	△510
投資事業組合からの分配による収入	158, 432	94, 447
投資有価証券の取得による支出	△63, 500	_
投資有価証券の売却による収入	1, 184, 132	148, 699
貸付金の回収による収入	480	=
投資不動産の取得による支出	$\triangle 6, 567, 370$	△245, 301
投資不動産の賃貸に伴う収入	70, 317	260, 003
投資不動産の賃貸に伴う支出	$\triangle 72,674$	$\triangle 223,408$
敷金及び保証金の差入による支出	\triangle 39, 060	△38, 048
敷金及び保証金の回収による収入	33, 213	49, 900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	_	△127, 527
その他	5, 032	△24, 287
せ資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 5,416,748$	$\triangle 2, 259, 336$

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5, 600, 000	770,000
長期借入金の返済による支出	△157, 771	△293, 794
社債の償還による支出	△1, 000, 000	△1, 000, 000
自己株式の取得による支出	△468, 372	_
その他	8	△27, 460
財務活動によるキャッシュ・フロー	3, 973, 864	△551, 255
現金及び現金同等物に係る換算差額	7, 332	△1, 270
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2, 382, 120	△2, 696, 831
現金及び現金同等物の期首残高	12, 156, 247	9, 403, 989
現金及び現金同等物の中間期末残高	9, 774, 127	6, 707, 157

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の 実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積 実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法に よっております。

(セグメント情報等の注記)

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						
	ITアウト ソーシング 事業 (注) 3	EC事業 (注) 4	計	その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	2, 034, 754	3, 655, 445	5, 690, 199	1, 321, 672	7, 011, 871	-	7, 011, 871
セグメント間の内部売上高又 は振替高	44, 669	ı	44, 669	155, 536	200, 206	△200, 206	_
i i 	2, 079, 423	3, 655, 445	5, 734, 868	1, 477, 209	7, 212, 077	△200, 206	7, 011, 871
セグメント損失(△) (注) 2	△58, 259	△18, 441	△76, 700	△778, 212	△854, 913	_	△854, 913

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない 共通費を含んでおります。
 - 2 セグメント損失の合計額は中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。
 - 3 ITアウトソーシング事業のうち、主要なSES事業の売上高は1,339,400千円、セグメント利益が31,893千円、 介護福祉人材サービス事業の売上高は25,085千円、セグメント損失が54,832千円となっております。
 - 4 EC事業はSHOPLIST事業とAda. 事業で構成されており、2025年2月28日に譲渡済みのSHOPLIST事業の売上高 2,402,101千円が含まれております。Ada. 事業のみの売上高は1,253,344千円となります。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ITアウト ソーシング 事業 (注) 3	EC事業 (注) 4	il	その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	3, 328, 051	1, 782, 369	5, 110, 420	272, 526	5, 382, 947	_	5, 382, 947
セグメント間の内部売上高又 は振替高	1, 355	-	1, 355	110, 090	111, 445	△111, 445	_
計	3, 329, 407	1, 782, 369	5, 111, 776	382, 616	5, 494, 392	△111, 445	5, 382, 947
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	△298	42, 441	42, 142	△180, 952	△138, 809	_	△138, 809

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない 共通費を含んでおります。
 - 2 セグメント利益又は損失の合計額は中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。
 - 3 ITアウトソーシング事業のうち、主要なSES事業の売上高は1,926,341千円、セグメント利益が117,526千円、介護福祉人材サービス事業の売上高は384,251千円、セグメント損失が81,559千円となっております。
 - 4 EC事業のうち、SHOPLIST事業は2025年2月28日に譲渡済みであるため、当中間連結会計期間よりAda. 事業のみとなっております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
 - 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間から、「メディア事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

当中間連結会計期間から、「GameFi事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。